



向陵広場

発行号 第52号
発行日 令和元年10月10日(木)
発行元 向陵編集校友会
責任者 伊藤有司 (県商 10 回卒)

インストラクターの道 梅田 恭詞 氏 県商34回卒 (昭和 60 年3月)

現在、フリーインストラクターとして頑張っています。

私は若き 28 歳のとき喫茶店の経営をしており、そのときにアイスクリーム等の甘いものが好きで、閉店後にワッフルにクリームをしっかりとトッピングして食べていたので体重も 53kg があつというまに 73kg になってしまい、それを見かねた友達からスポーツジムを紹介され、会員になったものの、会費は出したが月に1~2回程度しかトレーニングに参加しませんでした。

喫茶店の開店資金は自分の貯金や親から援助を受けて順調に経営をしており、多忙な際は母親や姉の協力で店の切り盛りを乗り越えて充実した日々を過ごしていました。

安定した時期に友人と共同経営をしてメニューや店の運営を改革してさらに規模の拡大をする計画でした。

しかし、2001 年 9 月 11 日、アメリカのニューヨークの2棟のビルがテロにより破壊された事件により世界中が不安になり、日本全体もその余波で経済が停滞し、各会社も引き締めにかかり、今まで来店していたお客も次第に足が遠のき、店も赤字続きでついに閉店を余儀なくされました。

その後、アルバイトをしながら、ジムでトレーニングをするようになり、色んな講座での友達も増え年齢は年長でもジムに対する経験は初心者であり、教えてもらうことがたくさんあり、ジムの閉館時間まで真剣になって話し合うことが度々あり、私もトレーニングについて多くの内容について勉強になりました。

インストラクターを目指す為には具体的な養成講座に入りそこで基礎からしっかりとトレーニングすることの大切さを知り、自分の進む道をしっかりと決め関係の講座を受講し、資格を取得しました。



多くの会員の方々を指導することは机上のようにはいかないもので、最初のうちは事前に練習していたズンバも振り付けやテンポを間違えて失敗も沢山あり、悩みましたが会員の温かい心により成長でき、自信もつき余裕も出てスムーズに講座時間を終えることが出来るようになり、「ホット」しています。

インストラクターの資格はさらに上位があり、それらを取得するために日々研修をしています。

(梅田恭詞ホームページより抜粋)

